

呼吸器外科

■ スタッフ

科長	高尾 仁二	
副科長	島本 亮	
准教授 (臨床研究開発センター)	川口 晃司	
助教	伊藤 温志、金田 真吏	
医 師	常 勤 併 任 非常勤	4 名 1 名 0 名

■ 特色・診療対象疾患

当診療科は、肺癌など胸部悪性腫を中心に呼吸器外科領域全般の外科治療を行っています。特に原発性肺癌、転移性肺癌に対しては、疾患の病期・進行度と呼吸機能などの患者様の耐術能、術後 QOL を総合的に評価し、ひとりひとりに最適な手術方法を提案しています。

1. 当科の特色

- 外科、内科、放射線診断科、放射線治療科、IVR 科などのチームでの治療方針検討、集学的治療を特色としています。
- 早期肺癌に対する根治的縮小手術（呼吸機能温存）。
- からだにやさしい低侵襲鏡視下手術。

2. 主な診療対象疾患

- 原発性肺癌
- 転移性肺癌
- 縦隔腫瘍
- 悪性胸膜中皮腫
- 手掌多汗症
- 漏斗胸
- 自然気胸
- 感染性・炎症性肺疾患など

■ 活動実績

当院は、特定機能病院、がん拠点病院、大学附属病院・教育機関としての役割を負っており、県内の他施設に比較すると原発性肺癌をはじめとした悪性疾患の外科治療頻度が高いという特徴があります。

スタッフが非常に少ないなかでも、これらの臨床、治療と並行しつつ医学生、研修医、修練医の指導、全国多施設共同研究への参加などに努めています。

1. 治療実績

当診療科は、5名のスタッフ（呼吸器外科専門医3名）で2021年は224件の手術を施行しました。疾患別では原発性肺癌115例（図1）、転移性肺癌39例、縦隔腫瘍14例、重症筋無力症2例、非腫瘍性良性疾患45例でした（胸腔鏡手術は200例）。また2019年より開始したロボット支援下胸腔鏡手術は本年は40例と昨年の23例からほぼ倍増しています。

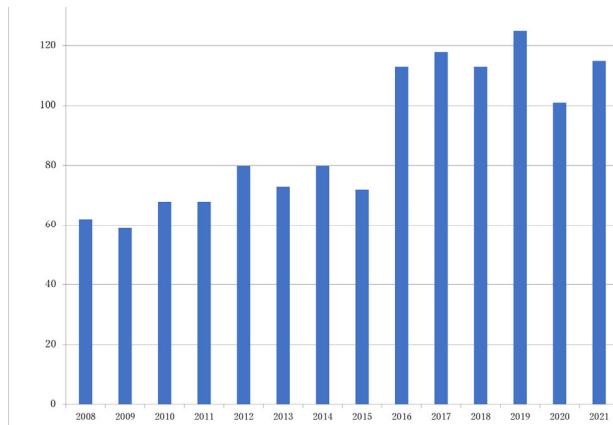


図1 原発性肺癌手術件数の推移

1) 原発性肺癌

CTで偶然発見されるような2cm以下の末梢小型肺癌に対しては、呼吸機能を温存できる根治的縮小手術を積極的に施行し標準手術（肺葉切除）と同等の治療成績を得ています（本年度の縮小手術は54例）。局所進行肺癌に対しては、症例数は少ないものの、呼吸器内科、放射線治療科との連携のもと術前導入療法を積極的に行っています。さらに、2012年からは原発性肺癌手術にも完全胸腔鏡下手術や開胸器を用いない小開胸併用胸腔鏡補助下手術を導入し、本年は肺癌手術115例中112例（97%）が胸腔鏡手術でした。原発性肺癌手術患者様のうち67名が70歳以上でした。

2) 転移性肺癌

悪性腫瘍の再発転移においては、肺転移の制御が予後を左右することが多いといわれています。当科ではIVR科との連携のもと、手術とRFA（radiofrequency ablation）のHybrid治療により、多発転移巣を有する症例や再発を繰り返す症例に対する治療成績の向上を認めています。

<https://miekyoubugeka.wixsite.com/website>

3) 縱隔腫瘍

2012 年から胸腺腫や胸腺嚢胞に対する完全胸腔鏡下手術を導入しました。また、神経内科と連携のもと、以前から施行している重症筋無力症に対する術前ステロイド導入療法も継続して行っており良好な治療成績を得ています。この拡大胸腺摘出術にも剣状突起下鏡視下手術により胸骨を切離しない低侵襲手術を実現しています。

<https://www.hosp.mie-u.ac.jp/section/kokyukigeka/>

4) その他

漏斗胸に対して胸肋挙上術変法(SCE)、NUSS 法、手掌多汗症に対する交感神経離断術を行っています。

2. 教育活動の実績

- 大学院教育（博士課程 2 名）。
- 専門医指導。
- 学生・研修医に対する実習・Wet Lab。
- 呼吸器外科ロボット手術の公式見学施設（コロナ流行期においては、遠隔配信で対応しました）

3. 臨床研究等の実績

- JCOG0804/WJOG4507L：胸部薄切 CT 所見に基づく肺野型早期肺癌に対する縮小切除の第 2 相試験【登録終了・フォローキー期間】
- Reveal-IP：間質性肺炎合併肺癌に対する前向き登録調査【登録終了・フォローキー期間】
- 高齢者肺癌に対する外科手術の前向き登録調査【登録終了・追加フォローキー期間】
- RATSIG01（呼吸器外科の低侵襲手術における創（ポート）の数や挿入肋間部位と術後疼痛に関する多施設共同調査）研究代表施設
- RATSG02（COVID-19 流行下でのリモートを併用した呼吸器外科ロボット手術の初期教育システム導入に関する多施設共同研究）研究代表施設

■ 今後の展望

当診療科は、三重大学大学院医学系研究科胸部心臓血管外科の呼吸器外科チームであり、胸部心臓血管外科と緊密な連携をとり診療、教育、研究を行っている強みを生かしています。

三重大学大学院医学系研究科胸部心臓血管外科 HP